

D-3 家族関係の発展に関する研究 —家族関係の発達の課題について—

東京家政学院大家政 ○福田 恒子
黒田 淑子
恵泉女学園短大 小牧百合子

1. 本研究では、発達の観点に基づいて、家族関係の発展に関する諸問題を明らかにする。家族関係の展開する過程では、親子、家族間に種々な発達の課題が成立する。これらの課題を発展の関係枠に位置づけて類型化するとともに、関係の発展をもたらす課題解決の原理や技法を明らかにする。

2. 1) 質問紙法、参加観察法による研究、生活状況における関係枠に位置づけて家族の活動の実態を关系的に把握する。質問紙法においては、日常生活の具体的場面を設定し、親子、家族間の発達の課題がどのように展開しているかをとらえる。参加観察法においては、研究者自身が、関係内一員として家族の活動を展開発展させる役割を担いながら、そこに成立する課題を動的に把握する。

2) 行為法—家族心理劇—による研究、発達の課題に対応する生活縮図的場面を構成し、心理劇による家族の集団活動を、今、ここで、新しく展開し、現実生活を高める方向で心理劇の過程分析を行なう。

3. 課題解決状況（たとえば、父・母・子関係における認識の成立、遊具を媒介とする親子関係の展開、親子の関係における体験の変化など）の分析・考察を進める。関係の発展過程における成員の役割行為、役割体験を媒介に、関係発展の原理や技法を明らかにすることができる。（物媒介による対人関係発展の技法。役割投入による関係拡大の技法。その他。）